

公益社団法人 日本経営工学会
第 32 期第 2 回理事会議事録

日 時：平成 25 年 9 月 14 日（土），15:00～18:15

場 所：慶應義塾大学日吉キャンパス 来往舎 2 階中会議室

出席者：（理事）河野宏和，高橋勝彦，二ノ宮滋，篠田心治，松林伸生，西口宏美，伊呂原隆，
後藤正幸，中出康一，有菌育生，石井和克
（監事）開沼泰隆

欠席者：（理事）熊谷敏，皆川健多郎 （監事）水山元

議決事項

1. 第 32 期第 1 回理事会議事録の確認の件

庶務担当理事より，（資料:2-1）に基づき第 32 期第 1 回臨時理事会議事録（案）が提示され，出席者の誤りを修正し，議事録として全会一致で承認された。

2. 入会承認の件

会員担当理事に代わり，庶務担当理事より，（資料:2-2-2）に基づき，正会員 2 名，学生会員 3 名の入会申請が報告され，全会一致で承認された。あわせて，（資料:2-2-1）に基づき，平成 25 年度会員異動報告がなされた。

また，会員の訃報のメルマガへの掲載について議論され，メルマガは発行ペースが決まっており，速報には向かないため，まずは会員担当理事に一報し，会員担当理事から理事会メンバーリストへ報告するというプロセスが確認された。

3. 経営システム誌編集委員会運営細則の改定の件

編集担当理事より，（資料:2-3）に基づき，経営システム誌編集委員会運営細則の改定案が提案された。第 4 条（委員会の開催）について，年 6 回発行を前提として「少なくとも 2 ヶ月に 1 回以上」と規定されているが，実務上は日々メールにて業務を進行しているため，この点を「適宜」に改定することが全会一致で承認された。

4. その他

なし

協議事項

1. 論文掲載料の更新について

編集担当理事より，（資料:2-4）に基づき，論文掲載料の更新について，論文誌編集委員会での検討内容が報告された。新たに発生する J-Stage のデジタルデータ掲載料を会員は学会負担，非会員は著者負担とし，1000 円未満の端数を調整した論文掲載料案が提案され，页数毎の料金の上がり幅について整合性がとれたものになるよう再検討することを付議し，全会一致で承認された。他学会の動向や掲載料収入・投稿数の推移については長期的にモニタリングし，調査することが要請された。

2. JIMA 論文誌の JST 公開におけるパスワード制限について

編集担当理事より，（資料:2-5）に基づき，JIMA 論文誌の JST 公開におけるパスワード制限について，論文誌編集委員会での再検討内容が報告された。JST の論文公開にはパスワードをかけないことが提案され，協議した結果，一定期間会員のみ公開する特典よりも，論文を会員外にもスピーディーに公開するメリットの方を重視した方が良いという判断により，パスワード制限をしないことが全会一致で承認された。

3. 「経営システム」の商標更新について

編集担当理事より，（資料:2-6）に基づき，「経営システム」の商標更新について，商標登録から現在までの経緯が報告された。商標更新については全会一致で承認され，会員に対してアナウンスをしていくこととした。

4. 秋季大会特別セッションについて

企画行事担当理事より、(資料:2-7)に基づき、秋季大会特別セッションについて説明がなされた。開催日時、内容を確認し、会員宛ての周知方法やテーブル分け、モデレータの人選などが協議され、特別セッションの開催について全会一致で承認された。詳細についてはメーリングリスト等で継続審議することとした。

5. JIMA（日本経営工学会）－KIIE（韓国 IE 協会）ジョイントカンファレンス 2014 の開催について

監事より、(資料:2-8)に基づき、JIMA-KIIE ジョイントカンファレンス 2014 の開催について、第 31 期理事会での検討から現在までの経緯の説明がなされた。APIEMS と KIIE の関係や開催の概要について確認し、KIIE に開催時のバリューを高めるための要望を伝え、その結果を踏まえて継続審議することとした。

6. その他

● 支部予算について

支部担当理事より、支部予算の送金方法について、支部運営細則と実際の運用に違いがあることが指摘され、今後の方針についての協議の要請があり、公益化に伴い現在の運用になっていること、支部運営細則の改定が追いついていないことの説明がなされた。予算の送金については研究部門同様に年度初めに一括で送金する方向で検討し、詳細なルールを財務担当理事と連携して作成し、次回以降の理事会に報告することが要請された。ただし、一括で送金する場合には支部によって金額が大きくなるため、期末だけでなく期中にも予算執行状況を確認する必要があることが示された。

● 経営システム誌の配布のための増刷について

編集担当理事より、(別紙 2-1)に基づき、経営システム誌の三団体連携事業の特集号について説明があり、経営システム誌の配布のための増刷について協議の要請があった。広告効果があれば 5 万円程度の追加費用は許容範囲であるとし、後日、配布のための必要数と追加費用を計算して報告し、会長の決裁を得て増刷を決定することを全会一致で承認した。

報告事項

1. 会員担当理事に代わり庶務担当理事より、(資料:2-2)に基づき、退会について報告がなされた。
2. 庶務担当理事より、(資料:2-9)に基づき、代議員の退会について報告がなされた。
3. 編集担当理事より、(資料:2-10)に基づき、NII-ELS (CiNii) 申合せ改定について報告がなされた。
4. 国際渉外担当理事より、(資料:2-11)に基づき、協賛行事他委員会報告事項について報告がなされた。
5. 大会担当理事より、(資料:2-12)に基づき、平成 26 年度春季大会について報告がなされた。
6. 財務担当理事より、(資料:2-13)に基づき、平成 25 年度第 1 四半期決算についての報告がなされた。
7. 編集担当理事より、(資料:2-14)に基づき、掲載料・別刷代請求一覧についての報告がなされた。
8. その他
 - 庶務（広報）担当理事より、ホームページの更新状況についての報告がなされた。
 - 編集担当理事より、(別紙 2-2)に基づき、ISSN 登録手続き完了についての報告がなされた。

※懇談

● 「特別セッション（ラウンドテーブル）」に関するアンケートについて

(別紙 2-3)に基づき、「特別セッション（ラウンドテーブル）」に関するアンケートについて懇談を行った。アンケートの試案が示され、アンケートの実施を決定した。項目については特別セッションの詳細とともにメーリングリスト等で検討することとした。

● 代議員制と選挙について

代議員制と選挙について懇談を行った。現状の代議員選挙での問題点や当会の旧社団法人時代、

他学会での選挙方法を中心に意見を交換した。立候補は維持しつつ不足分を推薦によって補うという提案，落とすための選挙でなく不適格者のないことを確認すればよいという意見，代議員だけでなく理事についても検討すべきであるという意見等があり，懇談の結果，プロセスの効率化を図る方向で庶務担当理事を中心に検討し，次回以降の理事会に具体的な案を提案することとした。

※次回第32期第3回理事会は，平成25年11月15日（金）18:00～20:45，東京21cクラブ内 ローズウッドルームにて開催する。

議 長 河野 宏和 印

議事録署名人 開沼 泰隆 印